

# 2022年度 新入社員育成研修





# 新入社員育成研修 スケジュール

コンピュータを使うことに長けている新入社員の皆さんに、指示を出すためのコンピュータの仕組みを学んでいただきます。

2022/4/5 (火) ～ 5/31 (火) 合計37日間

日程	日数	コース名
4/5 (火) ～ 4/7 (木)	3	新入社員のための仕事の進め方
4/8 (金) ～ 4/13 (水)	4	IT基礎
4/14 (木)	1	アルゴリズム入門
4/15 (金) ～ 4/26 (火)	8	Javaプログラミング ～基礎～
4/27 (水) , 5/10 (火)	2	Web技術
4/28 (木)	1	ストレスコントロール
5/2 (月) , 5/6 (金)	2	データベース・SQL入門
5/9 (月)	1	Javaプログラミング ～DBアクセス～
5/11 (水) ～ 5/16 (月)	4	Javaプログラミング ～Webアプリケーション～
5/17 (火)	1	システム開発入門
5/18 (水) ～ 5/30 (月)	9	システム開発入門 ～システム開発演習～ / 成果発表会
5/31 (火)	1	生産性を上げる仕事の基本

※期間内で一部コースの開催順が前後する場合がございます。

## ◆ 研修環境について

- ・ オンライン形式でご受講の日は、インターネットに接続可能な場所でご受講ください。
- ・ 原則、複数コースをご受講の場合は、研修に必要なPC・プログラム・教材参照用機材等を弊社より貸与いたします。



# 2022年度 新入社員育成研修の特長

一人ひとりの社会人としてのスキル、IT技術者としてのスキル等を多面的に分析し、ご報告します。

## ◆ 受講者の皆様の進捗や様子、成果をご報告

クラスマネージャーと講師が、「社会人」と「技術者」の2つの視点で新入社員への指導・アドバイスを行うことで、一人ひとりをしっかりとフォローいたします。



<b>研修の実施</b> (4月)	経験豊かな講師陣が研修を実施することで、技術面・メンタル面の指導、アドバイスを効果的にを行います。また、 <b>毎日のレポートを弊社からのアドバイスを含め、ご担当者様に確認いただけるようにしています。</b>
<b>中間報告</b> (4月末～5月)	受講開始からの社外での研修の様子や現在の理解度、傾向などをまとめ、 <b>中間報告として各社ご担当者向けにご報告</b> します。5月研修へのご要望や気になることはこちらでもお受けします。
<b>研修の実施</b> (5月)	ストレスコントロールなどメンタルを制御するスキルや、応用的なプログラムスキルを身につけたあと、グループで1つのシステムをつくり、コミュニケーションをとりながら進める演習を行います。
<b>個人別 フィードバック</b> (6月以降)	個人別に研修全体を通じた総合評価をレポートとして、 <b>個人ごとの理解度やコミュニケーション傾向、今後のアドバイスなどを含め、ご報告</b> します。技術面・メンタル面だけでなく、定期的にクラスマネージャーによる面談なども行った結果など、日々の研修時に気付いた点などを総括的にご報告します。

## ◆ 研修内容に合わせた受講形式

流行予測が困難なCovid-19への備えと、対面型研修（集合研修）へのご要望への対応から、「集合形式」と「オンライン形式」に加え、2つの形式を組合わせた「ハイブリッド形式」の3種類の受講形式\*を併用します。 \*各コースの受講形式については P.7～8 をご参照ください。

- 集合形式：**  
各研修会場にて対面形式の研修を行います。  
ビジネスマナー、コミュニケーション能力など
- オンライン形式\*：**  
ご自宅等インターネットに接続可能な場所から受講いただきます。  
ストレスコントロール、生産性を上げる働き方など
- ハイブリッド形式：**  
全受講者の約半数は集合形式、残りの受講者はオンライン形式で研修を行います。  
より内容を伝えやすい集合形式を併用し、理解を深めることを目的とします。  
つまづきやすい内容、グループ演習など



\* オンライン形式は同時双方向形式（Web会議ツールZoom）で行います。



# 新入社員育成研修で習得できる 実践力習得のための2つのスキル

「社会人としてのスキル」と「IT技術者としてのスキル」を  
実践力として日々の研修で身につけていただきます。

新入社員の皆さんに、社会人としての「ビジネススキル」や、技術者としての「ITスキル」を身につけていただくために、社会人スキルの養成を担当するクラスマネージャーと、ITスキルの養成を担当する講師がサポートいたします。

## 社会人スキル養成

- 9:00～ 9:30
- 17:00～17:30

研修の開始・終了のタイミングで、  
社会人として求められるスキルについて  
学びます。



研修期間を通して  
新入社員の皆さんの  
様子を見守ります

クラスマネージャー

## 技術スキル養成

- 9:30～17:00

コンピュータの基礎知識から  
プログラミング、プロジェクトでの開発まで  
じっくりと学習いたします。

技術をつけてもらうため  
個々の内容を工夫し  
研修を行います



講師

# 実践力



お客様や上司、先輩と良好な  
関係を築くために、社会人  
としてのマナーを身につけます。

すべての研修期間を通じて、  
社会人に求められるマナーを  
習得できるよう講師が指導します。

毎日講義開始前に30分程度の  
マナー & プレゼンテーション演習を  
行います。

傾聴力を養い、相手の主張を  
読み取るスキルを身につけます。

コンピュータ、ネットワーク、  
情報セキュリティについての  
基礎知識を学びます。

習得した基礎知識を  
システム開発や運用業務に  
活用できるスキルを習得します。

Javaを用いてプログラミングの  
基本からWebアプリケーションを  
作成する技術を習得します。

IT技術者として欠かせない  
論理的思考の大切さと  
プロジェクト管理の基本的な  
手法を身につけます。



# 新入社員育成研修

## 研修概要 社会人スキル養成

「ドキュメンテーションスキル」、「プレゼンテーションスキル」、「コミュニケーションスキル」の3つに重点を置いて育成いたします。

### 社会人スキルを養成するための具体策

#### ドキュメンテーションスキル

##### ✓ 議事録の作成

「何を・誰が・いつまでに」を明確にし、会議に参加していない人にもわかるように文書を作成するコツや、議事録を効率よく作成するためのポイント（メモの取り方、フォーマットの作成など）を学び、情報を正確に伝達共有する力を身につけます。

##### ✓ レビュー技術

文章の表現方法や誤字脱字のない文書を作成するためのポイントや自己レビューの観点を習得します。システム開発演習の期間中は実際に議事録作成を行い、他の受講生が作成した議事録をレビューします。

#### プレゼンテーションスキル

##### ✓ 要約力と伝達力

研修開始前に「3分間スピーチ」の時間を設けテーマに沿ったプレゼンテーションを行います。3分で他の受講者に理解してもらえるよう、内容を考えレジュメシートに簡潔にまとめます。これにより、話の要点をまとめ、伝える能力を身につけます。

##### ✓ 課題の把握と対策

スピーチを聞いた受講者から発表者へのフィードバックにより、ききとりシートをもとに他の受講生に内容が伝わっているかをフィードバックします。これにより、発表者自身のプレゼンテーションにおける課題が明確になり、次回のスピーチまでにその課題の対策を検討することができます。

#### コミュニケーションスキル

##### ✓ 聴く力

プレゼンテーションの内容をききとりシートにまとめることで傾聴力・理解力を養います。また、グループ演習を通して相手の話を「聞く」だけでなく、課題を整理してニーズを引き出すための「聴く」技術について学びます。

##### ✓ 問題解決能力と積極性

グループ内で把握した課題に対する検討を行うことで、問題解決能力の向上を目指します。また、他の受講者と相互補完を行うことにより、日々の課題を明確にし、主体的に取り組む積極性を養います。



# 新入社員育成研修 研修概要 技術スキル養成

技術スキルの養成として、ITに興味を持っていただくための体験と、自ら考えて取り組むカリキュラムを準備しております。

## 技術スキルを養成するための具体策

### コンピュータへの興味と知識

#### ✓ ロールプレイや実機を使った演習

スマホやタブレットというブラックボックスの中に興味をもってもらい、その原理を修得します。情報処理の基本のほか、演習などを通して、インターネットサービスやアプリを支えるしくみについて学びます。

#### ✓ フローチャートとプログラムの作成導入

コンピュータに指示を出す方法を学び、フローチャート図に起こしてプログラム文字列として作るための知識をつけます。

### 納得と成功体験の積み上げ

#### ✓ プログラミング

プログラム文法を学ぶことももちろん重要ですが、「調べたり質問することで自分で解決していく」行動パターンを身につけることが重要と考えます。研修に加えて書籍やインターネットを活用します。

#### ✓ 設計、システム開発演習

設計は、重要な開発工程のひとつです。オブジェクト指向と一緒に設計を学び、以降のシステム開発演習で使用し、身につけます。開発演習ではグループでひとつのWebアプリケーションを開発します。

### SE/PGとして必要な要素

#### ✓ ストレスコントロール

業務に従事するなかで、責任と共に様々なストレスがかかる場合があります。それらにどう対処すれば良いか、感情をコントロールするためのスキルを身につけます。

#### ✓ 仕事のすすめかた

社会人としての「働く意識」の再確認とモチベーションアップをはかります。仕事の基本を振り返り、報告連絡相談、タイムマネジメント能力、優先順位のつけ方を身につけます。

# 新入社員育成研修 研修概要 カリキュラム

## カレンダー

## 研修概要

4月度	形式	コース名	研修日数	研修概要	学習目標	
1 金	●	新入社員の仕事の進め方	3日間	社会人としての心構えや業務を効率よく進めるコツについて学びます。またMicrosoft Officeを用いてのビジネス文書作成や、ビジネスメールの書き方について学習します。 また、ただ「聞く」だけでなく、相手の課題を整理してニーズを引き出すための「聴く」ヒアリング技術について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての基本的なマナーを身に着け、実践することができる</li> <li>・社会人として必要な文書作成技術を修得し、適切に使い分けすることができる</li> <li>・プレゼンテーションを作成し、適切に伝えたいことを伝えることができる</li> <li>・相手の課題を読み取る技術を習得する</li> <li>・議論を効率よく進めるために必要な図解の技術を習得する</li> </ul>	
2 土		IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース				
3 日		■	IT基礎	4日間	IT業界で仕事をしていくために、知っておかなければならないコンピュータのしくみおよびシステムの基本、ネットワーク、セキュリティについて学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードウェア、ソフトウェア、システムについての語句の意味や仕組みを説明できる</li> <li>・インターネットのしくみやネットワーク・プロトコルと関連機器について説明できる</li> <li>・情報セキュリティの考え方を理解し、各社のポリシーにおける対策・行動の理由がわかる</li> </ul>
4 月			ITの基本技術修得のためのコース			
5 火			アルゴリズム入門	1日間	コンピュータのしくみに沿って、プログラムで操作するための考え方を学びます。フローチャートも用いて変数、配列、順次実行、分岐、繰り返し等構造化の考え方のほか、集計、順次検索まで学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータに対して指示を出す流れについて説明できる</li> <li>・構造化プログラミングについて説明できる</li> <li>・構造化の考え方の下、順次検索までのJISのフローチャート図が作成できる</li> </ul>
6 水			専門的なプログラミング技術修得のためのコース			
7 木			Javaプログラミング～基礎～	8日間	Javaの基本文法、オブジェクト指向プログラミング言語の基礎知識、有用なクラスライブラリ、例外処理、開発環境の使用法、オブジェクト指向プログラミング言語の設計について学習します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なアルゴリズムを使ってJavaのプログラムを作成することができる</li> <li>・クラス、インタフェースなどオブジェクト指向の特徴を取り入れたプログラムを作成することができる</li> <li>・APIドキュメントを見て、クラスやメソッド、例外を調べることができる</li> <li>・ユースケース図、クラス図、画面遷移図等の役割を理解し、これらを元にJavaのプログラムが作成できる</li> </ul>
8 金	専門的なプログラミング技術修得のためのコース					
9 土	▲	Web技術	2日間 [ 4/27(水)と5/10(火)に分けて開催 ]	Webアプリケーションを開発するための技術であるWebサーバとクライアント間の通信の仕組み、Webページ構築、HTML/CSS/JavaScriptを取り扱います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web 3 階層システムとサイトを構築し、クライアント/サーバ間での通信を理解する</li> <li>・HTML/CSS、スクリプトを使用し、Webページを構築できる</li> </ul>	
10 日		ITの基本技術修得のためのコース				
11 月		ストレス・コントロール	1日間	社会人としての円滑なコミュニケーションを図り、感情をコントロールする術を習得します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を分析し、理解する。また、他者の理解への助けにする</li> <li>・感情をコントロールし、怒る技術を身につける</li> </ul>	
12 火		IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース				
13 水		▲	新入社員の仕事の進め方	3日間	社会人としての心構えや業務を効率よく進めるコツについて学びます。またMicrosoft Officeを用いてのビジネス文書作成や、ビジネスメールの書き方について学習します。 また、ただ「聞く」だけでなく、相手の課題を整理してニーズを引き出すための「聴く」ヒアリング技術について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての基本的なマナーを身に着け、実践することができる</li> <li>・社会人として必要な文書作成技術を修得し、適切に使い分けすることができる</li> <li>・プレゼンテーションを作成し、適切に伝えたいことを伝えることができる</li> <li>・相手の課題を読み取る技術を習得する</li> <li>・議論を効率よく進めるために必要な図解の技術を習得する</li> </ul>
14 木			IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース			
15 金			IT基礎	4日間	IT業界で仕事をしていくために、知っておかなければならないコンピュータのしくみおよびシステムの基本、ネットワーク、セキュリティについて学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードウェア、ソフトウェア、システムについての語句の意味や仕組みを説明できる</li> <li>・インターネットのしくみやネットワーク・プロトコルと関連機器について説明できる</li> <li>・情報セキュリティの考え方を理解し、各社のポリシーにおける対策・行動の理由がわかる</li> </ul>
16 土	ITの基本技術修得のためのコース					
17 日	アルゴリズム入門		1日間	コンピュータのしくみに沿って、プログラムで操作するための考え方を学びます。フローチャートも用いて変数、配列、順次実行、分岐、繰り返し等構造化の考え方のほか、集計、順次検索まで学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータに対して指示を出す流れについて説明できる</li> <li>・構造化プログラミングについて説明できる</li> <li>・構造化の考え方の下、順次検索までのJISのフローチャート図が作成できる</li> </ul>	
18 月	専門的なプログラミング技術修得のためのコース					
19 火	Javaプログラミング～基礎～	8日間	Javaの基本文法、オブジェクト指向プログラミング言語の基礎知識、有用なクラスライブラリ、例外処理、開発環境の使用法、オブジェクト指向プログラミング言語の設計について学習します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なアルゴリズムを使ってJavaのプログラムを作成することができる</li> <li>・クラス、インタフェースなどオブジェクト指向の特徴を取り入れたプログラムを作成することができる</li> <li>・APIドキュメントを見て、クラスやメソッド、例外を調べることができる</li> <li>・ユースケース図、クラス図、画面遷移図等の役割を理解し、これらを元にJavaのプログラムが作成できる</li> </ul>		
20 水	専門的なプログラミング技術修得のためのコース					
21 木	▲	Web技術	2日間 [ 4/27(水)と5/10(火)に分けて開催 ]	Webアプリケーションを開発するための技術であるWebサーバとクライアント間の通信の仕組み、Webページ構築、HTML/CSS/JavaScriptを取り扱います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web 3 階層システムとサイトを構築し、クライアント/サーバ間での通信を理解する</li> <li>・HTML/CSS、スクリプトを使用し、Webページを構築できる</li> </ul>	
22 金		ITの基本技術修得のためのコース				
23 土		ストレス・コントロール	1日間	社会人としての円滑なコミュニケーションを図り、感情をコントロールする術を習得します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を分析し、理解する。また、他者の理解への助けにする</li> <li>・感情をコントロールし、怒る技術を身につける</li> </ul>	
24 日		IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース				
25 月		▲	新入社員の仕事の進め方	3日間	社会人としての心構えや業務を効率よく進めるコツについて学びます。またMicrosoft Officeを用いてのビジネス文書作成や、ビジネスメールの書き方について学習します。 また、ただ「聞く」だけでなく、相手の課題を整理してニーズを引き出すための「聴く」ヒアリング技術について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての基本的なマナーを身に着け、実践することができる</li> <li>・社会人として必要な文書作成技術を修得し、適切に使い分けすることができる</li> <li>・プレゼンテーションを作成し、適切に伝えたいことを伝えることができる</li> <li>・相手の課題を読み取る技術を習得する</li> <li>・議論を効率よく進めるために必要な図解の技術を習得する</li> </ul>
26 火			IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース			
27 水			IT基礎	4日間	IT業界で仕事をしていくために、知っておかなければならないコンピュータのしくみおよびシステムの基本、ネットワーク、セキュリティについて学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードウェア、ソフトウェア、システムについての語句の意味や仕組みを説明できる</li> <li>・インターネットのしくみやネットワーク・プロトコルと関連機器について説明できる</li> <li>・情報セキュリティの考え方を理解し、各社のポリシーにおける対策・行動の理由がわかる</li> </ul>
28 木	ITの基本技術修得のためのコース					
29 金	アルゴリズム入門		1日間	コンピュータのしくみに沿って、プログラムで操作するための考え方を学びます。フローチャートも用いて変数、配列、順次実行、分岐、繰り返し等構造化の考え方のほか、集計、順次検索まで学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータに対して指示を出す流れについて説明できる</li> <li>・構造化プログラミングについて説明できる</li> <li>・構造化の考え方の下、順次検索までのJISのフローチャート図が作成できる</li> </ul>	
30 土	専門的なプログラミング技術修得のためのコース					

5月に続く

●・・・集合形式

■・・・オンライン形式

▲・・・ハイブリッド形式

\* 新型コロナウイルスの感染状況により、受講形式が変更となる場合があります。

\* 受講形式の詳細は P.3 をご参照ください。

# 新入社員育成研修 研修概要 カリキュラム

## カレンダー

## 研修概要

5月度	形式	コース名	研修日数	研修概要	学習目標	
1 日	▲	データベース・SQL入門	2日間	データベースの特徴やDBMSの機能などの基本知識と操作言語であるSQLの基本文法を学習します。また、実機を使用した表の操作から作成までのSQL文法を修得します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベース管理システムの概要を理解する</li> <li>基本的なSQL (DML/DDL) 文を使用してRDMSを操作できる</li> </ul>	
2 月		ITの基本技術修得のためのコース				
3 火		研修概要				
4 水		コース名	Javaプログラミング～DBアクセス～	1日間	JDBCを使用し、データソースに接続してデータを取得・操作する方法について学習します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>JDBC APIの特徴について説明でき、プログラムを作成できる</li> <li>プログラムと他システムの連携を理解できる</li> </ul>
5 木		研修日数	1日間	専門的なプログラミング技術修得のためのコース		
6 金	研修概要					
7 土	■	Web技術	2日間 [ 4/27(水)と5/10(火)に分けて開催 ]	Webアプリケーションを開発するための技術であるWebサーバとクライアント間の通信の仕組み、Webページ構築、HTML/CSS/JavaScriptを取り扱います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web 3 階層システムとサイトを構築し、クライアント/サーバ間での通信を理解する</li> <li>HTML/CSS、スクリプトを使用し、Webページを構築できる</li> </ul>	
8 日		研修日数	2日間 [ 4/27(水)と5/10(火)に分けて開催 ]			ITの基本技術修得のためのコース
9 月		研修概要				
10 火		コース名	Javaプログラミング～Webアプリケーション～	4日間	JavaでWebアプリケーションを開発するための技術であるWebページ構築、サーブレット、JSPについて学習します。JavaServletおよび、JSPを取り扱います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーブレット、JSPを使用した基本的なプログラムをMVCモデルに基づいて作成することができる</li> <li>セッション管理を用いたプログラムを作成することができる</li> </ul>
11 水		研修日数	4日間	専門的なプログラミング技術修得のためのコース		
12 木	研修概要					
13 金	▲	システム開発入門	1日間	システム開発ワークショップを行うにあたり、システム開発の流れ、テスト手法、プロジェクト管理について学習します。テスト手法については、テストケースを洗い出す実習を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発の流れを理解する</li> <li>テスト手法 (ブラックボックステスト、ホワイトボックステスト) について理解する</li> <li>プロジェクト管理の基本 (QCD、スケジューリング、報連相) を理解する</li> </ul>	
14 土		研修日数	1日間			専門的なプログラミング技術修得のためのコース
15 日		研修概要				
16 月		コース名	システム開発入門～システム開発演習～/成果発表会	9日間	システム開発の疑似体験を行います。システム設計から構築、テストを行い、管理ドキュメントとともに納品します。講師は、受講者のプロジェクトの上司役と顧客の担当者の役割を兼ねます。また、最後に成果発表会として、作成したシステムとプロジェクトについて、また新入社員研修についての振り返りとまとめを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト管理の重要性を理解し、実施できる</li> <li>システムの設計からテストまでの流れを理解し、実施できる</li> <li>システムの仕様を理解し、プレゼンテーションを行う</li> </ul>
17 火		研修日数	9日間	専門的なプログラミング技術修得のためのコース		
18 水	研修概要					
19 木	■	生産性を上げる仕事の基本	1日間	社会人として「働く意識」の再確認とモチベーションアップをはかります。仕事の基本を振り返り、報告連絡相談、タイムマネジメント能力、優先順位の付け方を身につけて生産性向上に繋がります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性を上げる働き方をするためのタイムマネジメント、報告連絡相談、優先順位の付け方のスキルを身につける</li> <li>職場に配属前に社会人としての心構えを再確認しモチベーションアップに繋げる</li> </ul>	
20 金		研修日数	1日間			IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース
21 土		研修概要				
22 日		コース名	生産性を上げる仕事の基本	1日間	社会人として「働く意識」の再確認とモチベーションアップをはかります。仕事の基本を振り返り、報告連絡相談、タイムマネジメント能力、優先順位の付け方を身につけて生産性向上に繋がります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性を上げる働き方をするためのタイムマネジメント、報告連絡相談、優先順位の付け方のスキルを身につける</li> <li>職場に配属前に社会人としての心構えを再確認しモチベーションアップに繋げる</li> </ul>
23 月		研修日数	1日間	IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース		
24 火	研修概要					
25 水	▲	生産性を上げる仕事の基本	1日間	社会人として「働く意識」の再確認とモチベーションアップをはかります。仕事の基本を振り返り、報告連絡相談、タイムマネジメント能力、優先順位の付け方を身につけて生産性向上に繋がります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性を上げる働き方をするためのタイムマネジメント、報告連絡相談、優先順位の付け方のスキルを身につける</li> <li>職場に配属前に社会人としての心構えを再確認しモチベーションアップに繋げる</li> </ul>	
26 木		研修日数	1日間			IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース
27 金		研修概要				
28 土		コース名	生産性を上げる仕事の基本	1日間	社会人として「働く意識」の再確認とモチベーションアップをはかります。仕事の基本を振り返り、報告連絡相談、タイムマネジメント能力、優先順位の付け方を身につけて生産性向上に繋がります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性を上げる働き方をするためのタイムマネジメント、報告連絡相談、優先順位の付け方のスキルを身につける</li> <li>職場に配属前に社会人としての心構えを再確認しモチベーションアップに繋げる</li> </ul>
29 日		研修日数	1日間	IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース		
30 月	研修概要					
31 火	コース名	生産性を上げる仕事の基本	1日間	社会人として「働く意識」の再確認とモチベーションアップをはかります。仕事の基本を振り返り、報告連絡相談、タイムマネジメント能力、優先順位の付け方を身につけて生産性向上に繋がります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性を上げる働き方をするためのタイムマネジメント、報告連絡相談、優先順位の付け方のスキルを身につける</li> <li>職場に配属前に社会人としての心構えを再確認しモチベーションアップに繋げる</li> </ul>	
	研修日数	1日間	IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース			
	研修概要					

- ・・・集合形式
- ・・・オンライン形式
- ▲・・・ハイブリッド形式

\* 新型コロナウイルスの感染状況により、受講形式が変更となる場合があります。  
\* 受講形式の詳細は P.3 をご参照ください。



# 新入社員育成研修 研修価格、会場のご案内

研修価格、会場については下記の通りです。  
新入社員育成研修以外に技術フォロー研修等も開催可能です。

## ◆ 価格のご案内

- 定価 - 1名様につき1日受講で27,500円(税込)

「人材開発支援助成金」等 各種助成金の利用が可能です

## ◆ 会場のご案内

大阪会場：

情報システム監査(株)大阪本社  
〒532-0003  
大阪府大阪市淀川区宮原4-5-36  
ONEST新大阪スクエア6階



東京会場：

情報システム監査(株)東京本社  
〒140-0004  
東京都品川区南品川2-2-13  
南品川JNビル8階



※開催人数により、一部コースを近隣の他会場で実施することがあります。

◇ 新入社員研修の前後にも研修を実施することが可能です。

----- 新入社員の**入社前**に**内定者学習**

ご要望に応じて内定者様に対し、事前にSNSなどを活用した事前学習を行います。

----- 新入社員**研修後**に**技術フォロー研修**

試験対策など、より専門的な内容を取り扱う研修を実施しています。

\* 本パンフレットに記載されている商品名およびサービス名等は、各社の商標、商標登録である場合があります。

2022年度  
新入社員育成研修ご案内



**情報システム監査株式会社** 営業部

大阪 TEL : 06-6395-7665  
東京 TEL : 03-5783-8680

FAX : 06-6395-7666  
FAX : 03-5783-8679

E-mail : [isasales@isanet.co.jp](mailto:isasales@isanet.co.jp)  
WebSite : [www.isanet.co.jp/](http://www.isanet.co.jp/)

